

研修No. 24

2022年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3月 28日
研究・研修課題名	PGTに関わるメディカルスタッフ育成のための研修
研究・研修組織名(所属)	島根大学・PGT実施体制構築のためのプロジェクト
研究・研修責任者名(所属)	金崎春彦(総合周産期母子医療センター・産科婦人科)
研究・研修実施者名(所属)	大越寛子(AB病棟3階、臨床遺伝診療部) 山内至朗、児玉夕希、三田奈々子、和泉恭子(産婦人科外来) 梅麻友美、石原麻生(AB病棟3階)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(講演会開催)
該当者名(所属)	大越寛子(AB病棟3階・臨床遺伝診療部) 山内至朗、児玉夕希、三田奈々子、和泉恭子(産婦人科外来) 梅麻友美、石原麻生(AB病棟3階)
学会名(会期・場所)、認定名等	セミナー「PGTに関わるスタッフに必要な知識」開催 (2022年10月30日・島根大学医学部附属病院)
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(学会参加にて最新の知識を得る)
該当者名(所属)	大越寛子(AB病棟3階・臨床遺伝診療部)
学会名(会期・場所)、認定名等	第74回産科婦人科学会学術講演会(ハイブリット開催・2022年8月5~7日・福岡国際会議場) 第8回日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会(ハイブリット開催・2022年10月29~30日・新潟コンベンションセンター) 日本人類遺伝学会第67回大会(ハイブリット開催・2022年12月14~17日・パシフィコ横浜)
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input checked="" type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	梅麻友美(AB病棟3階)
学会名(会期・場所)、認定名等	不妊カウンセラー
演題名・認証交付元等	日本不妊カウンセリング学会
取得日・認定期間等	取得日 2023年7月1日 認定機関 2023年7月1日~2028年6月30日
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input checked="" type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果 ()
該当者名(所属)	石原麻生 (AB 病棟 3 階)
学会名(会期・場所)、認定名等	不妊カウンセラー
演題名・認証交付元等	日本不妊カウンセリング学会
取得日・認定期間等	取得日 2023 年 7 月 1 日 認定機関 2023 年 7 月 1 日～2028 年 6 月 30 日
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有 () <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

平成 10 年に日本産科婦人科学会より、着床前診断に関する見解／細則が発表され、その後改訂されつつこれまで運用されてきた。この間、急速な分子生物学的・遺伝学的検査の解析法などの進歩、生殖補助医療の発展があり、社会情勢も変化してきた。これらの状況や最近の知見を踏まえて、再度改訂となり、令和 4 年 1 月 9 日に新たな見解／細則が発表された。この新たな指針に沿って、当院でも着床前遺伝学的検査：preimplantation genetic testing (以下、PGT) が開始予定であった。県内では、PGT-M (preimplantation genetic testing for monogenic)、PGT-SR (preimplantation genetic testing for structural rearrangement) を行う唯一の施設となる。

当院は着床前遺伝学的検査 (以下、PGT) の認定施設ではあるが、プロジェクト申請時には実績はない状況であった。PGT の実施にあたっては、胚の遺伝学的検査の結果解釈のために専門的な知識や、倫理的な課題に対応していくことが必要である。そして、PGT を希望するカップルが納得して自己決定ができるように、関わるスタッフは各自の専門知識を高めておくことが大変重要であると考えられる。しかし、当院において、PGT に関わった経験のあるスタッフはおらず、コアメンバーにおいても不安の声が聞かれていた。よって各スタッフが PGT の実際や対象者との関わりについて学び、必要な知識を得ること、PGT 実施体制を整えていくことを本研修の目的とした。

また、不妊治療に関わる専門職の一つとして不妊カウンセラーが挙げられる。不妊カウンセラーは不妊で悩んでいる人々に対して、妊娠・出産や不妊に関する適切な情報提供活動を行い、カップルが最適の不妊治療を選択することができるよう不妊カウンセリング・ケアの実践や研究活動を行う。当院にはこの資格を有するスタッフはおらず、PGT 開始にあたって資格取得が望まれている。不妊に悩む方の意思決定に関わる専門家として、不妊カウンセラーの資格を持ったスタッフの配置が可能となるよう、資格取得を希望するスタッフへの受験支援を行うことを目的とした。

② 方法

1) 着床前診断の実績のある施設の認定遺伝カウンセラー®、胚培養士、不妊看護認定看護師を講師として招き、セミナー (ハイブリット形式) を開催

セミナー名「PGT に関わるスタッフに必要な知識」

日時：2022 年 10 月 30 日 10:00～12:00

場所：島根大学医学部附属病院ゼブラ棟 2 階だんだん

講師：庵前美智子 認定遺伝カウンセラー® (IVF なんばクリニック)

中野達也 胚培養士 (IVF なんばクリニック)

浅野麻里子 不妊看護認定看護師 (IVF なんばクリニック)

2) 関連学会や研修への参加

第 74 回日本産科婦人科学術講演会 (2022 年 8 月 5～7 日)

第 8 回日本産科婦人科遺伝診療学会 (2022 年 10 月 29～30 日)

日本人類遺伝学会第 67 回大会 (2022 年 12 月 15～17 日)

3) 日本不妊カウンセリング学会 不妊カウンセラー認定試験の受験 (2022 年 12 月)

③成 果

・PGTに関する講演では常に声がかかる講師陣を迎え、セミナー「PGTに関わるスタッフに必要な知識」開催することができた。各専門職の立場から具体的な対応や詳細な技術面に渡り教授いただいた。各部門のスペシャリストの講義を聴き、貴重な知識を得ることができた。困難症例への対応についてどのような関わりをしているのか、対応のポイントについても症例を通して、学ぶことができた。そして、他院での着床前診断の実際の流れを知ることで、各部門の関わり方や実施のイメージがついた。特に技術的なことがより専門的となる胚培養士のスタッフは、ラボを視察していただき、直接質問をする機会があり、実施にあたっての不安がかなり解消されたとのことであった。また、遺伝カウンセリングを実施するタイミングや倫理審査等について、当院でのPGT実施フローチャートの作成に役立てることができた。研修はハイブリット開催で、院外の医療スタッフを含め43名の参加であった。

・日本不妊カウンセリング学会による認定資格である不妊カウンセラーの認定試験に2名のスタッフが合格することができた(2022年12月)。産婦人科外来ではこの2名のスタッフを中心に、PGTを検討されるカップルが受診する際は、必ず看護スタッフが医師の診察に同席し、意思決定支援がしっかり行えるよう努めている。また、統一した関わりができるように、看護スタッフのための同席チェックリストを作成した。数例の対象者の方に使用した後、スタッフ間で振り返り、より良い対応が可能となるように修正していく予定である。

・関連学会においてはPGTに関する講演やセミナーがあり、タイムリーに学ぶことができた。特に胚の遺伝学的検査の結果解釈については、実際の症例の検査結果の提示があり、結果を確認する際の注意点など具体的に知ることができた。実際に検査結果を解析した経験のあるスタッフはいないため、検査会社より返却された結果が正しいかどうか慎重に判断していくことと、今後も積極的に研修に参加し、知識を更新し続けることが重要だと再認識した。また、学会で得た内容をPGT実施のフローチャート作成に生かすこともでき、大変有意義であった。

・院内で各部門の代表者をメンバーとして、PGTワーキンググループを結成し、倫理的な問題を含めて当院のPGT実施の流れについて検討を実施した。ワーキングにて作成したPGT実施のフローチャートについて共有し、各所からの意見を聞いた上で修正を行った。その後、実施体制が整ったと判断されたことから、昨年12月よりPGTが実施となっている。以上より、今回のセミナー開催や学会参加、不妊カウンセラーの資格取得はPGT実施体制の構築と円滑な実施開始に十分寄与できたと考える。